



全国公立学校教頭会通信 第8号

# きずな

発行 令和4年12月16日

全国公立学校教頭会広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： [zenkokyo@kyotokai.jp](mailto:zenkokyo@kyotokai.jp)

HP： <http://www.kyotokai.jp>

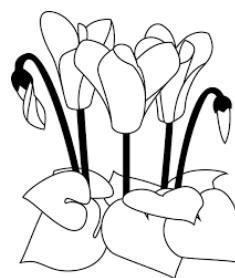
令和4年度第42回中国地区公立学校教頭会研究大会（鳥取大会）の概要をお伝えします。  
※全公教 中国ブロック長 鳥取県日野町立黒坂小学校 教頭 末次邦彦先生に取材協力をお願いしました。

## 第42回 中国地区公立学校教頭会研究大会（鳥取大会） 第36回 鳥取県公立学校教頭会研究大会（米子大会）

【開催日】 令和4年11月22日（火）

【場 所】 鳥取県米子市 米子コンベンションセンター（ビッグシップ）

【日 程】 受付 9：30～10：00  
開会行事 10：00～10：30  
記念講演 10：40～12：00  
分科会 12：45～15：30  
閉会行事 15：30～15：40



### 【大会概要】

(1)大会主題 「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」

～ふるさとを愛し、困難に挑戦して乗り越える力の育成と地域に信頼され共に歩む学校づくり～

(2)開会行事

①開会宣言 ②国歌斉唱 ③挨拶 中国地区公立学校教頭会長 全国公立学校教頭会長 ④基調提案

(3)記念講演

- ・演 題 「子どもを育てる学校」から「子どもが育つ学校」に ～今こそ 新しい発想で～
- ・講 師 木村 泰子 氏（大阪市立大空小学校初代校長）
- ・概 要 「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちの協力で設立された大阪市立大空小学校の初代校長としての取組について。子どもが主役の学校づくりのために必要なことは何か。

(4)分科会

6分科会・6課題に分かれて、実践発表をもとに研究討議を行いました。司会者は各分科会ともに鳥取県が行い、提言者は参会し会場にて提言を行っていただきました。

分科会 (小中合同)	司会者	提案者	
		中国地区	鳥取県
第1分科会 教育課程に関する課題	鳥取県	山口県上関町立上関小学校 河野 純志 先生	八頭町立郡家西小学校 岡村 篤朋 先生
第2分科会 子どもの発達に関する課題	鳥取県	山口県岩国市立錦中学校 藤木 剛 先生	日野町立日野中学校 青江 邦弘 先生
第3分科会 教育環境整備に関する課題	鳥取県	鳥根県安来市立赤江小学校 福間 亨 先生	米子市立成実小学校 速水 道弘 先生
第4分科会 組織・運営に関する課題	鳥取県	鳥根県邑南町立石見中学校 三宅 誠幸 先生	鳥取市立河原中学校 林田 卓也 先生
第5分科会 教職員の専門性に関する課題	鳥取県	岡山県備前市立備前中学校 岡武 俊樹 先生	鳥取市立西中学校 岸田 勇人 先生
第6分科会 副校長・教頭の職務に関する課題	鳥取県	岡山県高梁市立津川小学校 川西 基隆 先生	倉吉市立河北中学校 山根 賢先生

**【研究大会のふりかえり】**（全国公立学校教頭会 中国ブロック長 末次 邦彦 先生）

本研究大会は、新型コロナ禍の中、中国地区公立学校教頭会の歩みを止めないため開催県会員参集、県外会員オンラインでのハイブリッド型開催として、635名の参加を得て開催しました。

午前中の記念講演では、大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子氏をお招きし、ご講演いただきました。学校の目標を「すべての子どもに学習権を保障する」として、子どもが自分の学校を自分でつくるという視点に立ち、既成概念にとらわれない学校経営について学びました。

ご講演の中で示された全教職員、保護者、地域の人々が手を取り合い、新たな発想で取り組まれた実践は、私達がこれから学校の在り方について考える絶好の契機となりました。

分科会においては、6課題6分科会において、提言者から各県の先進的な取り組みをご提案いただきました。中国地区各県のそれぞれの副校長・教頭先生方の日頃の実践や課題を出し合い、これからの学校づくりをどう進めるのか熱心な協議が行われました。今後、参加者がそれぞれの地域での実践に生かすことができる大会になったと思います。